

# 由良（港・浜野路）地域実質化された京力農場プラン

| 市町村名 | 地域名 | (該当集落名) | 当初作成年月  | 更新年月   |
|------|-----|---------|---------|--------|
| 宮津市  | 由良  | 港・浜野路   | 平成31年3月 | 令和2年3月 |

## 1 対象地区の現状

|      |                                     |          |
|------|-------------------------------------|----------|
| a    | 地区内の耕地面積                            | 20.90 ha |
| b    | アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計 | 12.14 ha |
| c    | 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計            | 1.32 ha  |
|      | i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計               | 0.01 ha  |
|      | ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計          | 0.80 ha  |
| d    | 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計   | 0.00 ha  |
| e    | 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計    | 0.00 ha  |
| (備考) |                                     |          |

## 2 対象地区の課題

|  |
|--|
| 課題   |
| 今後5年で、80歳以上の方が耕作されている農地が現在の1.3haから5.9haへと大きく増加するが、個人では規模拡大を見込む耕作者はなく、現耕作者が耕作できなくなった農地は由良地区営農組合での引き受けが見込まれる。        |
| 5～10年後では、80歳以上の方が耕作されている農地が10.2ha（全体の1/2に相当）と更に倍増することに加え、営農組合オペレーターの高齢化も進行すると考えられるため、世代交代が進まなければ深刻な担い手不足となる可能性がある。 |
| 世代交代については、アンケートに回答のあった現耕作者の耕作面積の内、後継者ありが0.5ha、後継者なしが3.7ha、後継未定が7.9haとなっており、後継未定の次世代が営農に携わりやすい環境を整えることが重要と考えられる。    |

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

|  |
|--|
| 中核的担い手で農地集約を進め効率的な農地利用を検討するほか、作り手のない農地については由良地区営農組合への集積する。 |
|--|